

## 8. 人的な事業推進体制の充実

協会は組織経営から事業推進まで幅広い場面に多くの市民が参画している。特に事業推進に直接関与するスタッフを「アソシエーター」（協会=Association から作った造語）と呼んでおり、2017年度も、ボランティア（のべ158人、実数116人）と有給専従スタッフ（事務局員14人）が協働して事業推進に当たる体制「参加システム」で事業を進めた。具体的には、①個々の事業を企画推進する「チーム」「委員会」「事務局」を核に、②事業部門ごとに「運営委員会」を設け、さらに③経営全般を協議する「常任運営委員会」を開催。④「事務局員」が日常的に事業の“つなぎ役”となる他、⑤年2回、全体合宿（11月の「一泊創出会議」、2月の「事業計画会議」）を開催。アソシエーター全員の協議で事業や組織のあり方を決めるシステムをとり、自治的で開かれた形で運営を進めている。

### 1. 会員・寄附者の拡大

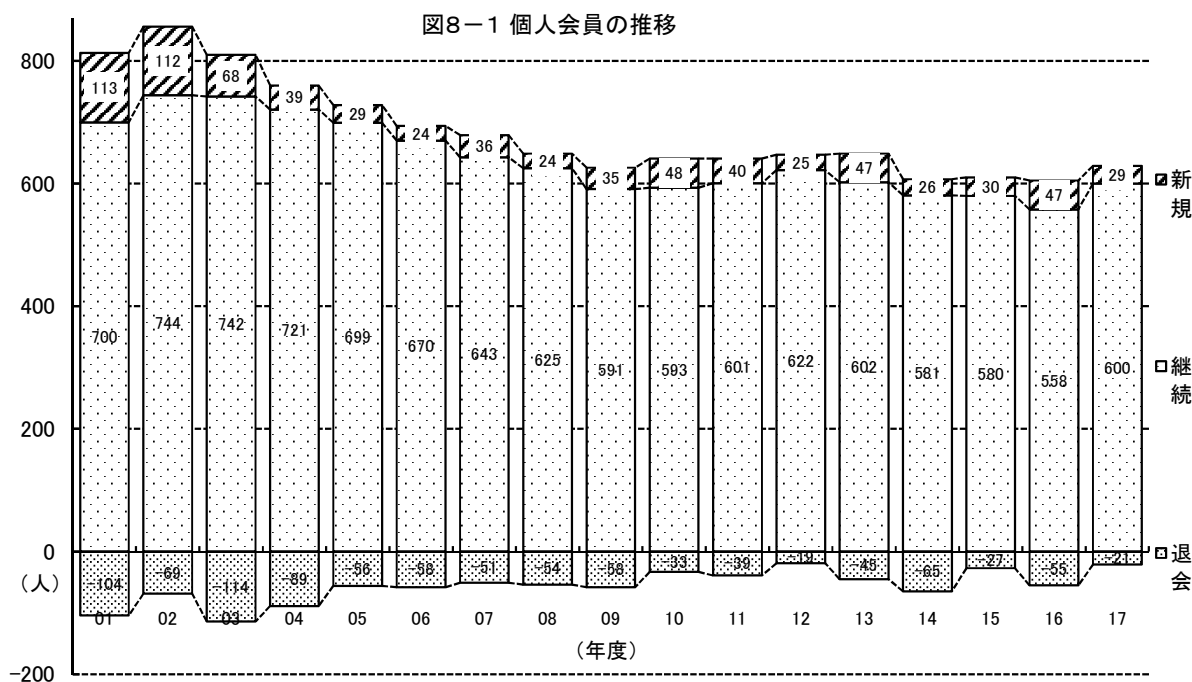
#### (1) 会員の現況

協会は、その目的に共感する市民が“個人会員”として事業を支える一方、趣旨に賛同いただいた企業などに“賛助会員”として資金的援助を受けている。個人賛助会員は、個人会員からの変更1人で計15人となった。新規入会は、個人会員・個人賛助会員あわせて30人（前年度比21人減）となったが、数年に渡って会費納入がない定款退会者を含め退会者が21人となった。なお、個人会員数において、新規入会者と退会者の差し引きに差異が生じた理由として、前年までは「休会中」の会員数を含めていなかったためである。「図8-1」も同理由により、会員数が増加している。一方、団体賛助会員（企業）では、退会企業はなく継続してご支援いただいた。なお特別会員は協会創設以来、多額の助成をいただいている（財）皓養社・前理事長 中納久昭氏である。〔下表で（）内は昨年度実績〕

表8-1 2017年度の会員の異動状況（カッコ内は前年同期実績）

	2017年3月	新規加入	退会	2018年3月
特別会員	1人	0人	0人	1人
個人会員	605 (610)人	29 (47)人	21 (52)人	629人
（内、生涯会員）	25人	0人	1人	24人
個人賛助会員	14 (10)人	1 (4)人	0人	15人
団体賛助会員（企業）	47 (48)社	0 (0)社	0 (0)社	47社
団体賛助会員（非営利）	9 (9)団体	0 (0)団体	0 (0)団体	9団体
合計	676 (678)	30 (51)	21 (53)	701

※個人会員から個人賛助会員への変更1人は、個人会員退会・個人賛助会員新規加入として計上している。



## (2) 会員・寄附者拡大に向けた努力

### ① 会員限定通信誌『キャンパス・ニュース』の内容

市民活動スクエア「CANVAS谷町」と大阪ボランティア協会の「今日」をお届けするマガジン「キャンパス・ニュース」を会員に隔月で送付した。

4・5月号	団体紹介／大会議室調整大会／2017年事業計画会議を垣間見る／協力感謝／フェイスブック日より「韓国から、いらっしや〜い！」／開催予告「市民セクターが挑む、社会的孤立の抑制・解消への道程：第4回LGBTをめぐる孤立」
6・7月号	団体紹介／総会講演会「今野晴貴さん（POSSE代表）にご講演いただきました！」／定期総会のご報告／事務局体制紹介／6・7月の主な協会スケジュール／アソシエーター歓送迎会／CANVASエピソード／協力感謝
8・9月号	「LGBTをめぐる孤立」を開催しました！／団体紹介／ボラ協を進化させる！？タネ／タネが育ち、コツコツ続いています／8・9月の主な協会スケジュール／協力感謝
10・11月号	団体紹介／ウォロ連動企画「2030SDGs」体験会／データで見るアソシエーター／10・11・12月の主な協会スケジュール／協力感謝／CANVASエピソード
12・1月号	団体紹介／伝えるコツセミナー開催決定！／CANVASよるがく&カフェ報告／一泊創出会議2017／1・2月の主な協会スケジュール／協力感謝／祝・ボランティアグループ「あかとんぼ」40周年
2・3月号	団体紹介／3.11 from KANSAI 2018／2017年度のご支援ありがとうございました！／2017年度の新たな動きをご紹介／2017年度珍プレー&好プレー／2017年ボラ協5大ニュース・世間の5大ニュース／開催日決定！定期総会および記念講演会／3月の主な協会スケジュール／協力感謝

### ② 寄附および会費自動納入システムの運営

クレジットカード・オンラインシステム、近畿労働金庫、郵便貯金から寄附や会費の引き落としが可能な態勢を整えている。17年度末の利用会員は、近畿労働金庫：3人、郵便貯金：24人、クレジット：47人である。

### ③ 寄附者拡大に向けて

2017年度では、事務局体制の不安定さもあり、寄附者拡大に向けた動きを仕掛けきれなかったが、2018年度に向け、寄附者拡大計画を検討した年であった。

## 2. 組織活動

### (1) 理事会（第78～82回）の開催

【第78回】開催日：2017年4月17日（月）、出席理事：6人、出席監事：1人

議案：①評議員の解任（辞任）候補者の選定について（案）、②評議員の選任（補欠）候補者の選定について（案）

【第79回】開催日：2017年6月6日（火）、出席理事：6人、出席監事：2人

議案：①2016年度事業報告および決算について（案）、②2017年度事業計画および第一次補正予算について（案）、③評議員の解任および選任について（案）、④評議員選任・解任委員の解任および選任について、⑤社会福祉充実残額について（案）、⑥常任運営委員の委嘱について、⑦役員等の報酬等に関する規程の改廃について（案）、⑧役員候補者の選定について、⑨第73回定時評議員会の開催について

【第80回】開催日：2017年6月23日（金）、出席理事：6人、出席監事：1人

議案：①理事長の選定について、②業務執行理事の選定について

【第81回】開催日：2017年11月11日（土）、出席理事：4人、出席監事：1人

議案：①2017年度上半期事業報告（案）および上半期収支報告（案）について

【第82回】開催日：2018年3月12日（月）、出席理事：5人、出席監事：1人

議案：①2018年度事業計画（案）および2018年度予算（案）について、②参与の推薦について、③第74回評議員会の招集について

### (2) 常任理事会の開催

協会の経営や労務面の課題を日常的に審議し、毎月の常任運営委員会の議案整理と理事会に提案する事項を審議

するため、理事長、常務理事、常任運営委員長、事務局長で「常任理事会」を設置。毎月、開催した。

### (3) 評議員会(第73~74回)の開催

【第73回】開催日：2017年6月23日(金)、出席評議員：11人、欠席評議員：2人

議案：第79回理事会①、②、⑦、⑧に付した議案の承認

【第74回】開催日：2018年3月30日(金)、出席評議員：12人、欠席評議員：1人

議案：第82回理事会①に付した議案の承認

### (4) 監事会の開催

開催日：2017年4月26日(火)、出席監事：3人

内容：「2016年度事業報告・決算報告」に関し、事業・経理・組織運営面の監査を実施した。

### (5) 会員総会(2017年度定期総会)の開催

開催日：2017年5月21日(日) 会場：市民活動スクエア「CANVAS谷町」大会議室

出席：267人(当日参加52人+委任状提出217人)

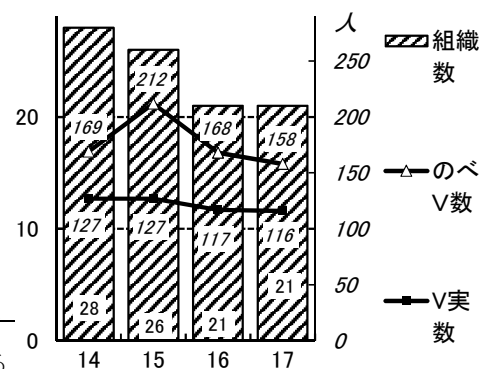
内容：第1部=記念講演会「ソーシャルアクションにつなげる～ブラック企業と若者支援から考える～」講師：今野晴貴氏((特)POSSE代表) / 第2部=①アソシエーター委嘱状交付、常任紹介、②2016年度事業と決算報告(案)、③2017年度事業と予算計画(案) / 第3部=会員懇親会

## 3. 市民参加による事業推進

協会事業への市民参加の状況(「参加の場」(チームなどの組織数)と、参加するボランティアののべ人数)を図8-2に示す。

17年度の協会で活動するアソシエーターは、のべ206人(昨年度221人)[うち、ボランティアのべ158人(同168人)]、実数116人(同117人)とのべ人数は減少した。新たにアソシエーターになった人は12人であったが、今後も更なる人材発掘・育成が必要である。

図8-2 事業への市民参加



### (1) 一泊創出会議、事業計画会議(アソシエーター総会)の開催

事業活動と組織運営をアソシエーター全員が参加できる場で検討するため2回の合宿を開催した。「一泊創出会議」では、多様な主体と連携し社会課題を解決するために、協会が実現したいことを検討、「事業計画会議」ではチーム、委員会、事務局など全事業主体が、それぞれでまとめた17年度実績の評価と、18年度の事業計画・予算案を提案。小グループごとに意見交換と質問・評価シートの記入を行うとともに、全体での討議を通じて、事業の質の向上を図った。協会の事業計画立案はボトムアップ型のスタイルとなっている。

◎一泊創出会議：2017年11月11日(土)～12日(日)、28人参加、場所は大阪市立長居ユースホステル。

【第1部】「社会課題を解決するために必要な連携とは？」

ゲスト：石原達也氏(岡山NPOセンター副代表理事)

【第2部】「鼎談 石原達也さん×上林常任運営委員長×椋木職員」

【第3部】「今度、大阪ボランティア協会でやりたいこと、やるべきこと」～実現したい夢を描く～(議長団)

【第4部】「災害支援体制のときの各チーム事業の在り方を考える」(災害支援委員会)

【第5部】「どうすれば夢を実現できる?!の手段を考える」(議長団)

◎事業計画会議：2018年3月24日(土)～25日(日)、37人参加、場所は新大阪ユースホステル。センター別にまとめて各チーム・委員会ごとの事業報告と計画、SDGs 2030年に向けてプレゼンテーションを行い、意見交換を行った。

### (2) 常任運営委員会(委員長・上林康典、委員V14人、職員2人)

協会事業全般に関し、ボランティアスタッフによる日常的な経営協議の場として組織している。2015年度以降は、財務・基金運営委員会の休止を受けて、財務検討の場としても機能している。17年度は、毎月開催した(定例日原則第4火曜、19時～21時、CANVAS谷町)。なお、委員でない事務局員も発言可能なオブザーバーとして参加している。

**<委員>**上林康典(委員長)、楠正吉、谷水美香(以上、副委員長)、  
井上小太郎、岡本友二、小林義彦、筒井のり子、名賀 亨、西江孝枝、早瀬 昇、藤原麻佐代、増田宏幸、  
水谷 綾、村岡正司、森本聡、永井美佳、岡村こず恵、  
(委嘱者) 牧里毎治 (オブザーバー) 岡本榮一、江渕桂子、梅田純平、椋木美緒、林寛人、  
小林政夫、阿部太極

**<主な審議・協議内容>** 定期会員総会の記念講演会PRと当日運営体制の決定、2016年度決算案の分析と2017年度第1次補正予算に向けた収支バランス改善、重点項目推進のための勉強会開催とタスクチーム設置、収支バランス改善、新規事業「CANVASよるがく」実施計画、CANVAS谷町のにぎわい促進と増収策企画、自助グループを対象としたCANVAS谷町利用促進支援にかかる指定寄附企画、一泊創出会議の議論の受け皿組織の確認と総括、日本NPOセンターの「花王-NPOでの人財交流の仕組み作り」事業への協力と受入れの審議、一泊事業計画会議の企画案、協会の事業継続計画(BCP)及び災害支援方針案、2018年度常任運営委員会の開催日程と運営、「2030年のありたい市民社会と協会の姿」と2018年度の協会の重点方針、2017年度の決算予測と対策、常任運営委員会の2017年度評価と2018年度計画、新チーム「すぐに動く災害ボランティアチーム『SUG』(仮称)」の承認可否と「CANVASよるがく」のチーム化、一泊事業計画会議で常任へ寄せられた意見の取についての協議 など

### (3) 法人コミュニケーションチーム(チーフ・井上小太郎、V3人+職員3人)

団体賛助会員・非営利会員とのコミュニケーションを強化し、関係の維持・拡大を目指すため、財務・基金運営委員会から分離して2014年度に新たに設置。17年度は年3回開催した。

**<委員>** 井上小太郎(チーフ)、早瀬 昇、森田 正紀、永井 美佳、岡村 こず恵、林 寛人

**<主な協議内容>** 団体賛助会員・非営利会員の訪問分担

### (4) ボランティア・NPO推進センター運営委員会(委員長・谷水美香、V10人+職員5人)

協会事業(ボランティア・NPO関連事業)全般に関し、ボランティアスタッフによる日常的な運営協議の場として組織している。(定例日 原則第1火曜、19時~21時、CANVAS谷町)

関連事業の進捗状況などのチェックや、NPO支援の見直し・今後の在り方について、議論を行った。またボランティア・NPO関連事業、CANVAS谷町(貸会議室)の運営についても検討を行った。

**<委員>** 谷水美香(委員長)、青山織衣、今村澄子、岩本裕子、川畑恵子、杉浦健、杉本亜希子、筒井のり子、南多恵子、村岡正司、永井美佳、梅田純平、小林政夫、林寛人、椋木美緒

**<主な協議内容>** VNC事業の骨格と方向性、ボランティア・NPO関連事業の検討、貸会議室支援メニューなど

### ・コーディネーション部会(部会長・岩本裕子、V6人+職員4人)

運営委員会のテーマ別部会の一つとして設置。主としてコーディネーション事業の戦略を検討したり、事業の進捗管理、評価等を担う。

**<委員>** 岩本裕子(部会長)、青山織衣、今村澄子、谷水美香、筒井のり子、南多恵子、永井美佳、梅田純平、椋木美緒、小林政夫

### (5) 企業市民活動推進センター運営委員会(委員長・井上小太郎、V6人+職員2人)

企業市民活動の推進を図るため、企業市民活動推進センター(CCC)の戦略と事業全般の企画立案、推進、評価を行うために設置。17年度は、年6回の運営委員会を開催。

**<委員>** 楠 正吉(委員長)、井上小太郎、江本雅朗、小林義彦、塩川恵造、中川智子、原田京子、平瀬有香、永井美佳、岡村こず恵

**<主な協議内容>** 17年度のCCC事業の進捗確認、『ウォロ』特集企画の検討、はじめてのCSR・社会貢献講座の企画検討、17年度の事業評価と18年度計画など

### (6) 災害支援委員会(委員長・森本聡、V7人+職員4人)

大地震や異常気象による災害が予想される中、協会としてどう備え、どう対応するかを考える部門として、「災害支援委員会」を2014年に新設。17年度は委員会を11回、「SUG」ワーキンググループを1回開催した。

**<委員>** 森本聡(委員長)、楠正吉、紺屋仁志、水谷綾、谷水美香、永井美佳、岡村こず恵、小林政夫(オブザーバー) 井上小太郎、入江由美子、梅田純平

＜主な協議内容＞災害支援センター（仮称）運営方針、災害時に迅速に動けるボランティアチーム「SUG」メンバーによる備蓄ワークショップ、災害時の協会のBCP（事業継続計画）のあり方検討など

### （7）ボランティアリズム研究所運営委員会（委員長・岡本仁宏、V7人+職員2人）

『ポスト50年』行動宣言』を受けて2016年度から取り組んでいる3つの事業について主に協議。17年度は8回開催した。

＜委員＞岡本榮一（所長）、岡本仁宏（委員長）、井上小太郎、工藤宏司、藤井渉、牧口明、早瀬昇、永井美佳、阿部太極

＜主な協議内容＞『ボランティア・NPO・市民活動年表』を読む会、市民セクターの次の10年を考える研究会、調査セミナー事業の企画など

### （8）チーム・専門委員会などの活動

ボランティアスタッフが直接推進している事業は、推進チーム、専門委員会などを組織して企画・運営している。各チーム、専門委員会の名称などは以下のとおりである。

#### A. 推進チーム（5チーム、ボランティアのべ61人）

- ①. ボランティアスタイルチーム（チーフ・玉利数正、V13+職1人。月1回）
- ②. CANVAS谷町のデザインチーム「たにまちっく」（チーフ・谷水美香、V9+職1人。月1回）
- ③. 「“裁判員ACT” 裁判への市民参加を進める会」チーム（チーフ・磯野太郎、V23+職1人。月1回）
- ④. 「ウオロ」発送チーム（チーフを決めず、V9+職2人。年6回）
- ⑤. ボランティア・市民活動ライブラリー運営チーム（チーフ・久保友美、V7+職2人。月1回）

#### B. ワーキングチーム（1チーム、ボランティアのべ2人）

- ①. SUG（すぐ動きまうグループ）ワーキング（チーフ・森本 聡、V2+職2人。随時）

#### C. 専門委員会（5委員会、ボランティアのべ51人）

- ①. アソシエーター活性化委員会（委員長・上林康典、V3+職1人。随時）
- ②. 「ウオロ」編集委員会（委員長・増田宏幸、V27+職3人。月1回）
- ③. 「CANVAS NEWS」編集委員会（委員長・西江孝枝、V4+職1人。隔月1回）
- ④. フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム幹事会（委員長を決めず、V8+職2人。隔月1回）
- ⑤. CRM（コーズリレーテッドマーケティング）研究会（座長・楠 正吉、V9+職0人。随時）

### （9）アソシエーター研修の充実

「アソシエーター活性化委員会」が企画運営主体となり、アソシエーター対象の研修事業を充実させている。15年度から復活した「アソシエーター中堅研修」については、気軽に参加できるプチ研修として実施。チームの枠を超えて、事業運営に役立つ研修を実施した。

・アソシエーター基礎研修：2017年7月30日（日）、参加者10人+講師5人。アソシエーターになって概ね2年以内の人を対象とし、協会の基礎的な情報を理解し、他のチームのメンバーと交流を深める目的で研修を行った。

・アソシエータープチ研修：2017年11月30日（木）、4人参加。アソシエーター自身が講師となり、全アソシエーター対象とした平日の夜2時間で気軽に学ぶことができるプチ研修を企画。職員の椋木美緒を講師に「ボランティアコーディネーション」を実施し、協会ではボランティアコーディネーターが対応するケースを通して、協会が大切にしている「ボランティア」観を学ぶ機会となった。

アソシエーター基礎研修



## 4. 事務局体制の充実

### (1) 職員研修の実施

- (1回目) 開催日：2017年8月3日(木) 会場：CANVAS谷町 参加者：職員9人  
 内容：担当事業の現状評価と今年度末の目標、業務効率化ワークショップ  
 リソースパーソン：紺屋仁志(IT支援)、楠正吉・上林康典(組織ガバナンス支援)
- (2回目) 開催日：2017年8月19日(土) 会場：CANVAS谷町 参加者：職員8人  
 内容：カードインバスケケット  
 講師：中村拓馬氏(インバスケケット株式会社 インバスケケット研究所)
- (3回目) 開催日：2017年12月26日(火)～27日(水) 会場：ワールドヴィレッジ 参加者：職員7人  
 内容：大阪ボランティア協会のビジョン、進捗状況の確認/既存事業のマッピング/新規事業の創出など

### (2) 事務局マネージャー会議の設置

事務局運営の円滑化をはかるため、事務局長、事務局次長の2人で、随時開催。事務局体制の検討や職員研修の企画、労務や法人事務、事務局会議での検討事項の整理にあたった。

### (3) 2017年度の事務局体制

2017年度に事務局業務に従事した有給スタッフとボランティアは、以下のとおりである。常勤職員8人、非常勤職員5人であり、雇用形態別では正職員7人、嘱託職員2人、アルバイト4人であった(以下、敬称略)。

※ ボランティアをVと略記

早瀬 昇(常務理事)

**【正職員】** 永井美佳(事務局長・統括会計責任者・公正採用選考人権啓発推進員；全体統括・渉外、法人事務・総務、財務・給与、人事・労務管理、常任理事会・常任運営委、CCC統括、企業企画相談、裁判員ACT、うめきたPJ、3.11実行委、CANVAS統括等)、岡村こず恵(事務局次長・個人情報取扱管理者；CCC運営委、フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム、はじめてのCSR講座、災害支援統括、災害時のスペシャルニーズ事業、おおさか災害支援ネットワーク、労務等)、江渕桂子(育休中)、梅田純平(V・NPO推進センター統括、NPO運営・寄附寄贈相談、NPO伴走支援PJ、積水助成、武田薬品工業NPO支援事業、共募、Vスタイル、大経大V実習、ウェブサイト更新、IT・PC管理等)、棕木美緒(市福祉Vコーディネーション統括、Vしたい・求む相談、阪急阪神助成・広報支援、講師派遣、アソシエーター活性化委等)、林寛人(CANVAS谷町全体運営・利用団体支援、たにまちっく、CANVASニュース編集、P登録、NPOぼいず発行、SAVE JAPANプロジェクト、V保険、後援名義、個人会員・寄附、真如苑、法人コミュニケーション、役員会、法人事務・総務等)、小林政夫(市福祉Vコーディネーション、Vしたい・求む相談、KVネット、はじV、JVCA 3級検定協力、大学VC協議会、災害時のスペシャルニーズ事業、ウェブサイト更新等)

**【嘱託職員】** 塩谷邦子(出納職員；経理、社会保険等)、阿部太極(4月より入職、3月まで。ボランタリズム研究所運営委、調査セミナー、年表本を読む会、セクター研究会、ウォロ編集・発送・販売管理、出版、ライブラリー等)

**【アルバイト】** 山下輝夫(CANVAS窓口、新聞PDF化)、岡村豊子(出版・ウォロ販売管理、新聞PDF化、庶務等)、松尾里香(CANVAS窓口、KVネット等)、萬浪侑子(6月より入職、3月まで。災害時のスペシャルニーズ事業)

#### 【ボランティア】

【事務局支援(新聞切抜支援等)】 緒方千代子、山科圭子

この他にも日常的に多くの方々にボランティアとして事務局業務にご協力いただきました。ありがとうございます。